



2023年5月17日

各位

会社名 スタンレー電気株式会社
代表者名 代表取締役社長 貝住 泰昭
(コード番号 6923 東証プライム)
問合せ先 経営管理部門長 三井 大哉
(TEL 03-6866-2222)

スタンレーグループ【第 期 中期3ヶ年経営計画】策定のお知らせ

このたび当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年を対象とする【第 期 中期3ヶ年経営計画】を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社グループでは、2023年度から「安全安心を実現し社会に貢献している ~光の力で夢を現実に変える~」を指針として、第 期 中期3ヶ年経営計画をスタートさせました。これは、2020年に策定した「スタンレーグループ第3長期経営目標」で示されている3ヶ年ごとの経営計画に、2030年に想定される外部環境を考慮したバックカastingによる視点を加えて策定したものです。その中の3つの大きなテーマと、経営目標は以下の通りです。

1. TADAS 思想のものづくり

あらゆる人々に安全安心を届けたいという思いから生まれた思想が「TADAS」です。全ての機能を無駄にすることなく使い切る、という TADAS 思想のもと、あらゆる人々が価値を享受できる価格を実現し、「安くて良いもの」を社会へ提供していきます。

2. 光の独自技術で新市場開拓

悪天候時の運転の安全性を向上させる車載用ランプシステムや、非可視光を用いた製品など、光の価値を追求した独自の技術によって、他社との差別化を明確に図り、新たな製品を生み出し、新市場を開拓していきます。

3. One Stanley でスピードのある挑戦

世界中の当社グループ社員が一丸となって、同じベクトルで挑戦し、成果を出していく姿が One Stanley です。One Stanley となることで、スピードのある価値提供をグローバルで実現していきます。

<経営目標>

	目標 (2025 年度)
売上高	5,500 億円
営業利益率	10%
ROE (自己資本当期純利益率)	8 %

	目標 (2023 年度以降)
連結配当性向	30%

株主還元のさらなる充実を図るため、連結配当性向は30%以上を目標としています。

なお、詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている計画につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものでリスクや不確実性を含んでおり、その達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら計画と異なる結果になり得ることをご承知おきください。

以上



第 期 中期 3 ヶ年 経営計画

スタンレー電気株式会社

▶▶ STANLEY GROUP VISION

光に勝つ

中戦略コンセプト



2030年
競争力のある企業へ

TADAS思想の
ものづくり

品質

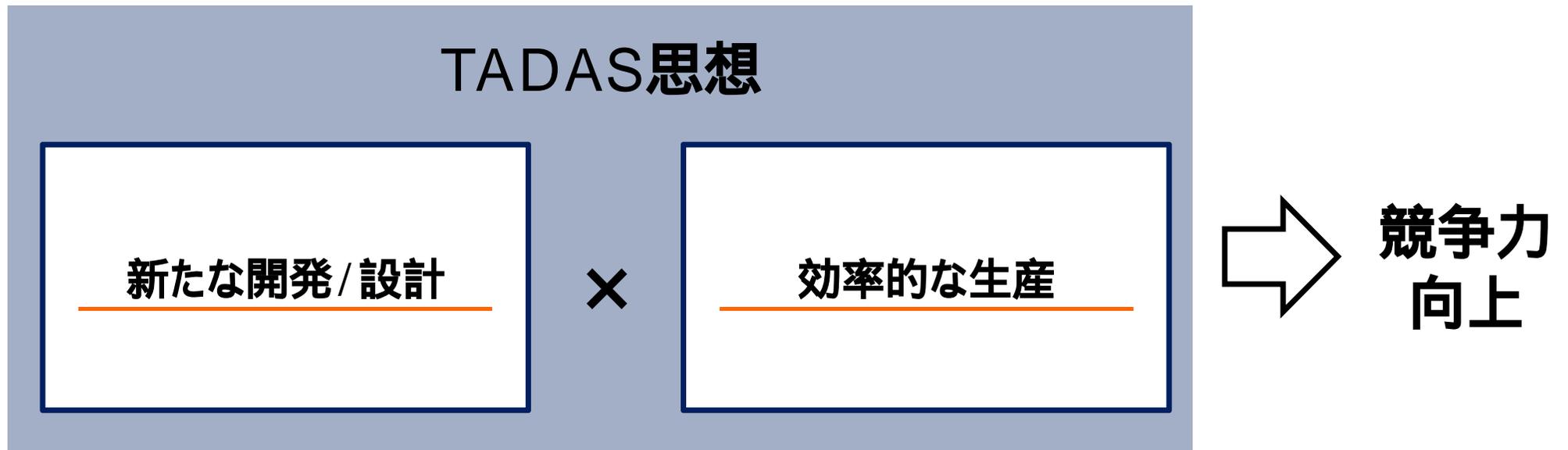
光の独自技術で
新市場開拓

One Stanleyで
スピードのある
挑戦

TADAS思想のものづくり



TADAS思想 = 「全ての機能を使い切る」
効率性を最大限に高めたものづくりを行い、「安くて良いものを」社会へ提供



TADAS思想をあらゆる面に取り入れ、効率性を極める

光の独自技術で新市場開拓



これまでに誰も解決できていない、悪天候による不便をなくして人々に快適な生活を届けることが2030年に向けた“スタンレーならではの価値”



悪天候による不便をなくすための技術で新市場を開拓

One Stanleyでスピードのある挑戦



国や人をこえ、グローバルで一丸となって作り上げた価値をスピードをもって提供

米州	ISE・SUS TADASによる	VNS	中国自動車営業	グローバル電子営業
デ サテラ 拠点 活か 新雇		新規 を 体		する 業を 置き、 主と 得
	<h2>非日系ビジネス拡大</h2>		<h2>カーボンニュートラル</h2>	
	<ul style="list-style-type: none">✓自動車 非日系売上高比率を増大✓電子 グローバルTopシェア顧客からの受注		<ul style="list-style-type: none">✓ものづくり改革や独自の光技術を 世界同一展開✓研究、開発、設計、製造が グローバルで連携	
グロ 台湾・ Top	技術開発	成長市場に 拠点を構え シェア向上	営業力強化で アジアシェア拡大	州 テック社 深紫外 素子の デバイス 反の製造

One Stanleyによりスピードのある価値提供を実現

2030年CO2排出量半減、2050年カーボンニュートラル達成

製造工程の
省エネ活動

省エネルギー
技術開発

カーボンネガティブ
新技術研究

材料・部品の
開発/探査

再生エネルギー
エネルギーマネジメント

研究開発総工数の50%を投入し
カーボンニュートラルを実現

経営目標

中期 経営目標



売上高

25年度 5,500億円



28年度 6,500億円

営業利益率

25年度 10%

責任利益

ROE

25年度 8%



28年度 10%

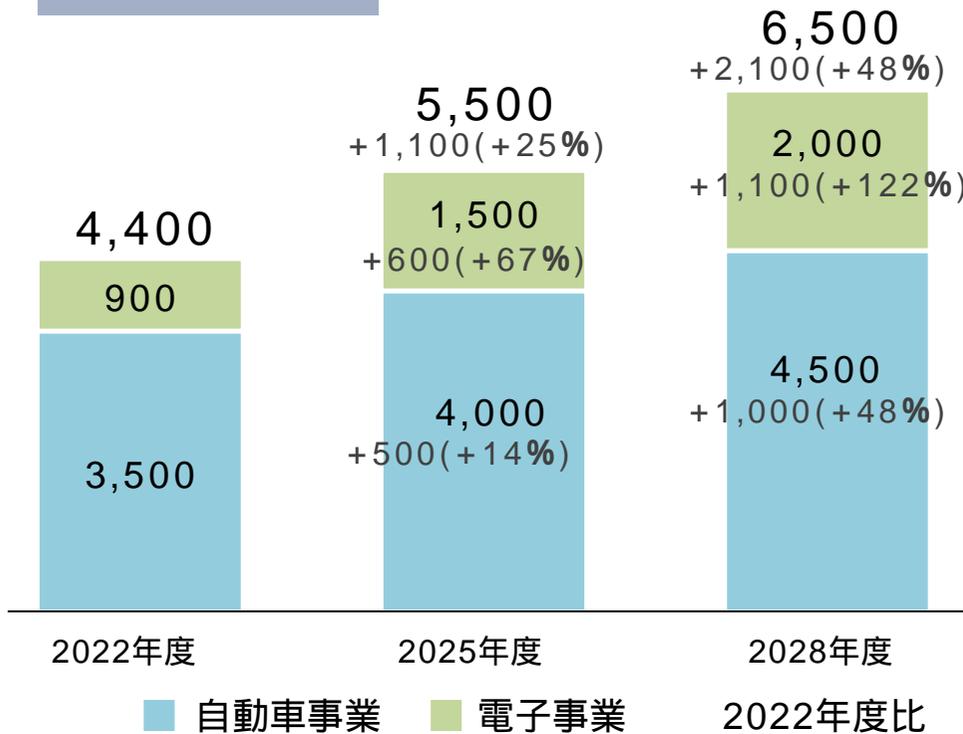
全社戦略コンセプトに基づく活動により
収益性と効率性の双方を高め、持続的な成長を目指す

財務戰略

売上高目標



売上高(億円)



自動車事業

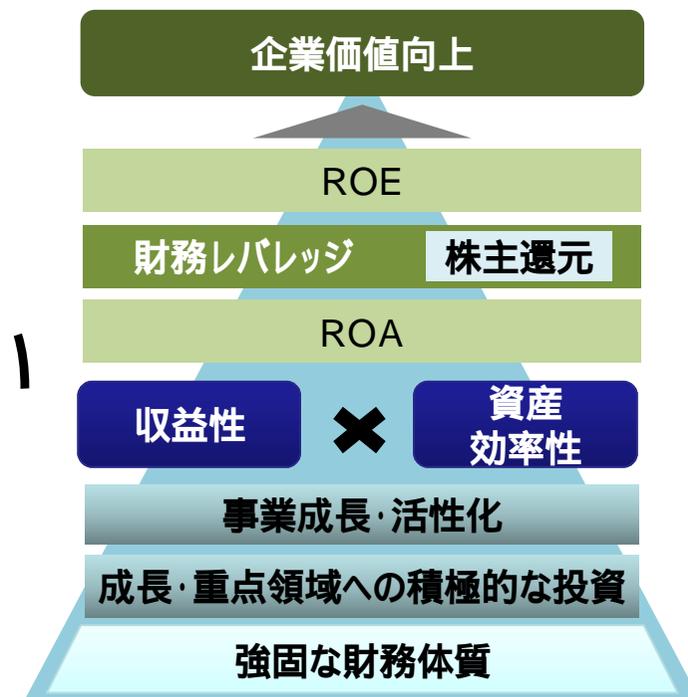
- ✓ 非日系の拡大
- ✓ 光の独自技術による新製品の獲得
- ✓ B E Vの受注拡大

電子事業

- ✓ 非可視光製品の拡大
- ✓ インテリア・エクステリア連動製品の拡大
- ✓ 既存製品の新市場への投入

拡大する売上高をベースに
R O E 達成に向けた財務戦略を実行

「**強固な財務体質**」を構築し、
「**成長領域・重点領域への積極的な投資**」を行い
持続的な「**企業価値向上**」を目指す



キャッシュマネジメントを構築し、ROE 10%を目指す

財務戦略コンセプト



「強固な財務体質」構築

企業運営の土台として
企業成長を支える

成長・重点領域への投資

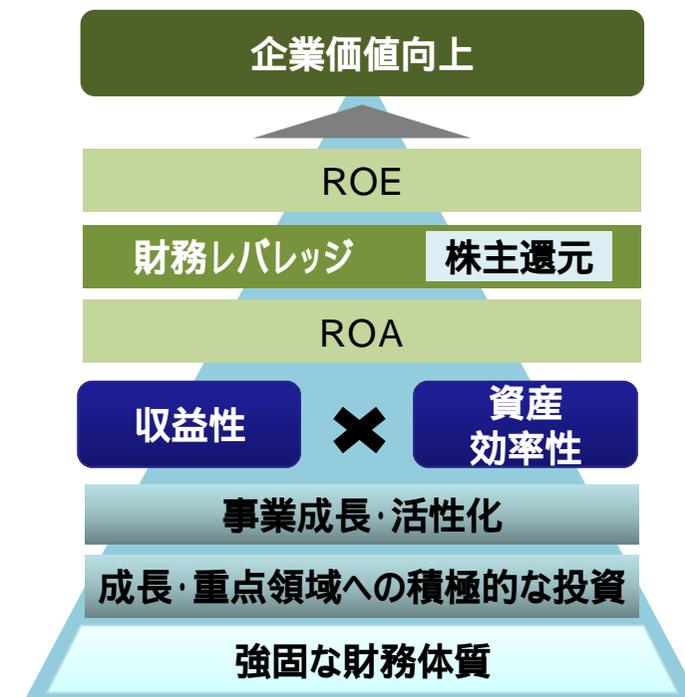
投資領域の選択と集中

ROA・ROEの向上

収益性・資産効率性の
双方を高め、資本コストを
意識した経営を強化

株主還元

継続的、安定的な株主還元



4つの方針を軸にして、企業価値向上を目指す

「強固な財務体質」構築



企業運営の土台にして、企業成長を支える

主要指標

格付(R&I)

A

手元資金
月商比

2 ~ 3カ月

自己資本
比率

70%

資産の圧縮を図り、資産効率の向上を推進

成長投資は、企業価値を高める成長ドライバー

成長・重点領域と衰退領域の「選択と集中」

成長・重点領域へは積極的に投資

- ✓ 光の独自技術で新市場開拓
- ✓ カーボンニュートラル(CN)対応
- ✓ DX化
- ✓ 拠点構築
- ✓ 原価低減 etc

衰退領域は統廃合し、縮小・撤退

- ✓ 事業および拠点の統廃合
- ✓ 製品区分の統廃合

事業成長・活性化につなげ、効率的に利益を創出

中投資計画（戦略投資について）



戦略コンセプトと、戦略投資分野を紐づけ、重点分野に資金を投下

中戦略コンセプト

TADAS思想の
ものづくり

光の独自技術で
新市場開拓

One Stanleyで
スピードのある挑戦

新たな
価値創造
150億
(150億)

原価低減
450億
(220億)

電子
事業拡大
100億
(55億)

CN対応
350億
(75億)

拠点構築
150億
(125億)

DX化
200億
(175億)

2030年までに
戦略投資
1,400億円

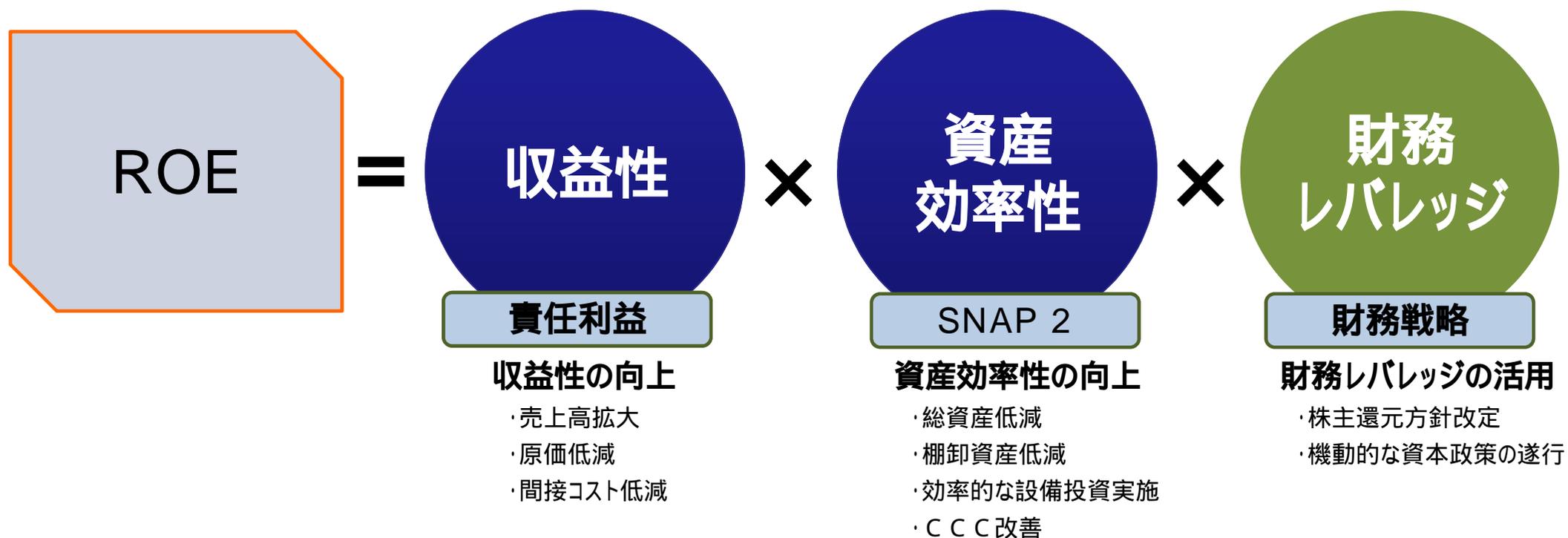
(25年度までに800億円)

資本コストを意識したリターンを見極め
成長に必要な投資を積極的に実施

ROA・ROEの向上



収益性と資産効率性の双方を高め、資本コストを意識した経営の強化

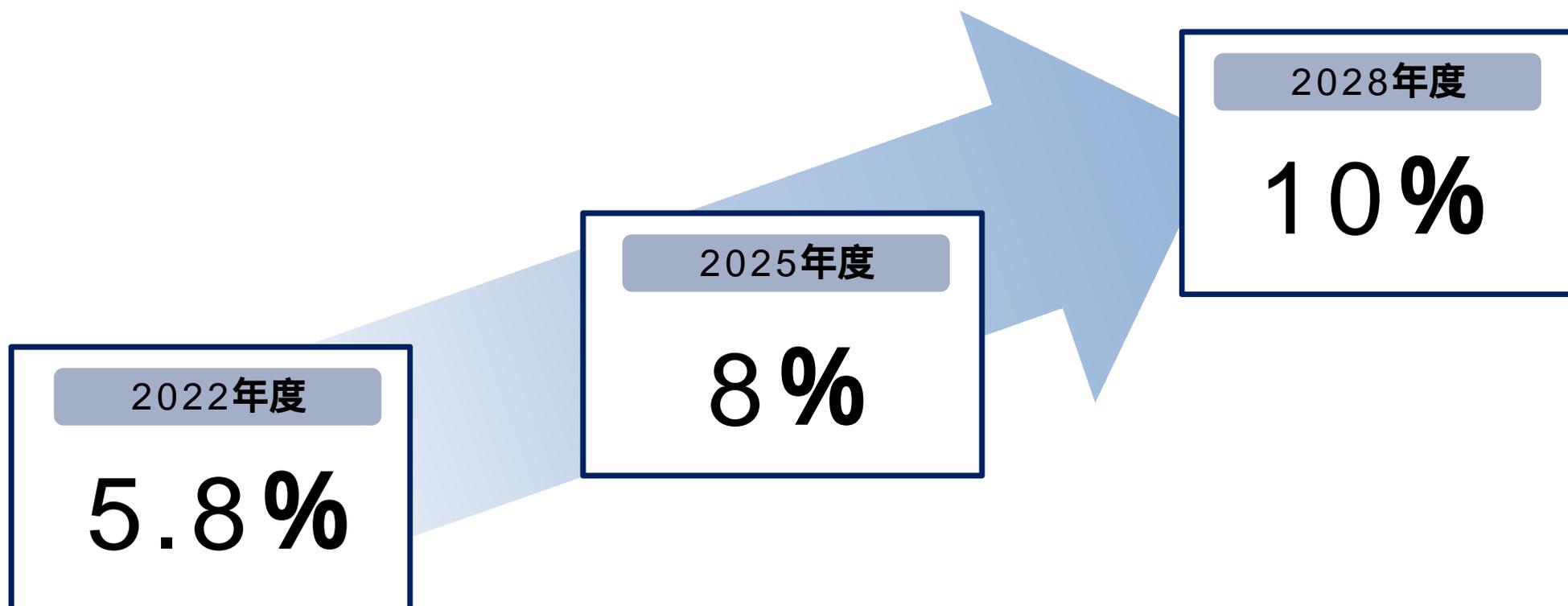


2025年度ROE目標8%の達成を目指す

ROEの目標

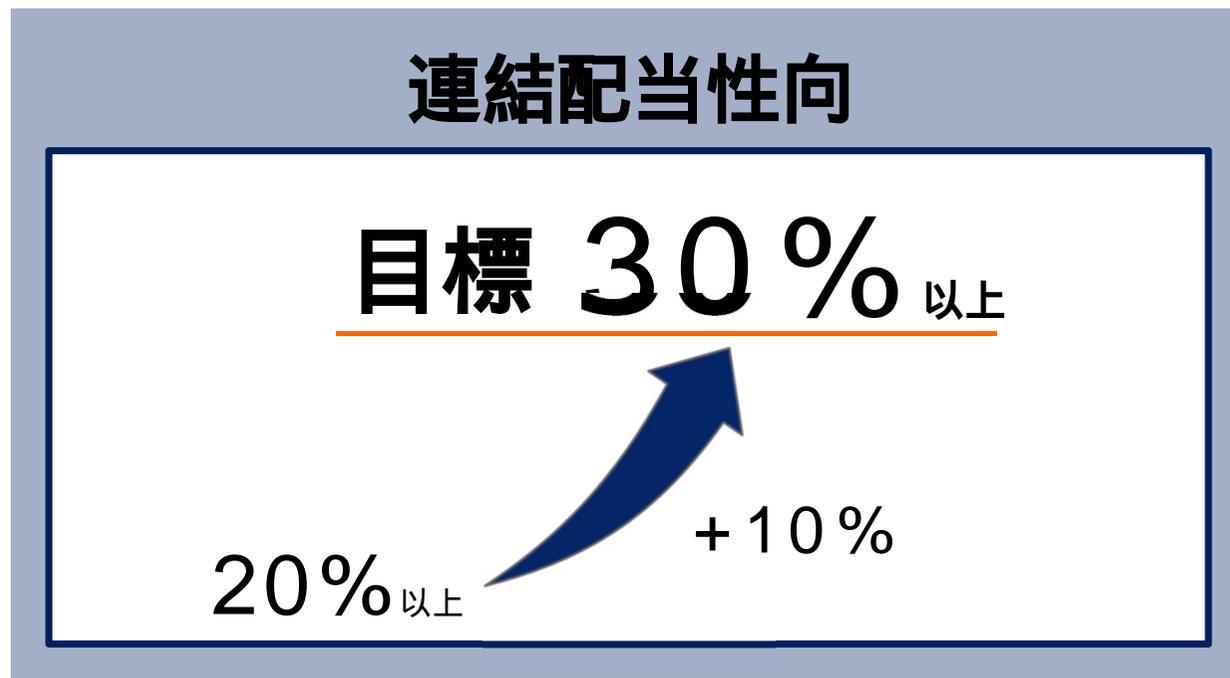


収益性と資産効率性の双方を高め、資本コストを意識した経営の強化



2028年度ROE目標10%の達成を目指す

継続的な「安定した配当」の実施。 連結配当性向目標の10%向上



適正な利益還元を実施し、最適な資本構成を目指す